

目的

子育てをしながら就職を希望する女性に対するきめ細かな就職活動サポートを通じて、希望する就職を実現するとともに、女性が働く選択肢を広げることで、女性の労働人口の増加を図る。

現状と課題

1 潜在的就業希望者2万人

・就職を希望する子育て期の女性2万人のうち、約8割が就職活動をしていない。

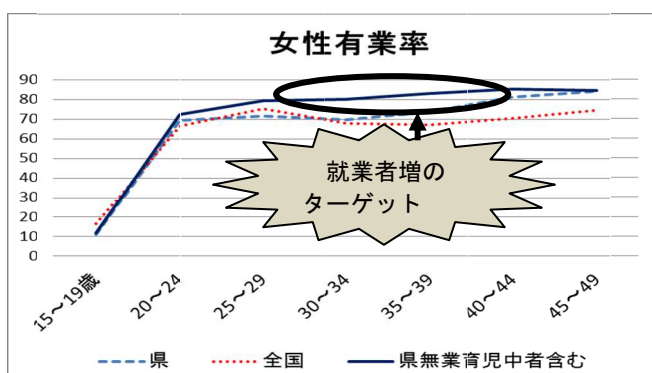
子育て期の就職希望女性の掘り起こし

・働きたいが具体的な就職活動の仕方が分からない女性が多い。

相談からマッチングまで切れ目ない支援

・働きたい女性に必要な就職支援情報が届いていない。

働きたい女性に必要な情報がダイレクトに届く仕組み



2 女性の職域拡大

・女性の希望職種は企業求人が圧倒的に少ない事務職などに偏っているため、就職が非常に困難。
・他の職種を詳しく知る機会がない。

多くの職種を知ってもらうための働きかけ

取組みの方向性

2万人

ターゲット層への直接アプローチ

・「相談者待ち」から「出向く」アプローチができる体制と就職支援サービスの提供

・就職支援機関やサービスを知らない多くの女性に対する「いつでも得られる」情報発信の仕組みの構築

・情報発信の仕組みを確実に広げるための体制づくり

《長野県の女性起業者数》
13,400人(全国21位)

総数に占める女性割合は低いが、30代からバランス良く広がっており、若い年代から興味を持つ人が多い傾向がある。



「私にはできない」から「できるかも」へ
「女性は雇えない」から「雇えるかも」へ
固定観念の転換

- ① 視覚に訴えたり、体験したりすることで、他の職種にも興味を持ってもらうきっかけにする。
- ② 女性でも働ける事例を示すことで、人手不足の企業へ女性の雇用を波及させる。

事業展開

【新】子育て期の女性の就業支援と情報発信

【拡】就業相談からインターンシップまでワンストップの就業支援

- ・市町村や求人開拓員と連携しながら子育て女性の身近な地域で就業相談
- ・就職情報の提供や、応募書類の書き方、面接指導などの託児付きセミナーを身近な地域で開催
- ブランクによる不安解消や適性を見極めのための短期間「託児付き」のインターンシップを実施
- ・子育て女性を対象とした企業説明会を県下各地で実施し、マッチングを支援

【新】「女性の就職応援サイト」の構築

- ・市町村の子育て情報や仕事と家庭の両立に取組む企業情報なども知ることができる、就職に必要な情報サイトを構築

【新】女性の職域拡大キャンペーン

- ・女性の職種の選択肢を広げるための職域拡大キャンペーンを地方事務所単位で開催し、様々な職種で活躍する女性や起業した女性、女性を雇用する企業を広く紹介

【新】飯田地域におけるハローワークとの連携強化

- ・長野地区に加え飯田地域に「女性就業アドバイザー」を配置し、マザーズコーナーや求人開拓員と連携し、就業相談から職業紹介までを一体的に支援

目標：就職活動開始人数	3,500人/年
就職者数	1,100人/年
インターンシップ利用者	100人/年

目指す姿

- ◆就職活動をしていない女性を活動につなげることで就業者が確実に増加
- ◆就職に必要な情報がいつでも得られることで、自身で動き出すことができる女性が増加
- ◆女性の働く場の選択肢が広がり就業者が増加

1 女性の就業率アップによる労働人口の増加

2 女性が活躍できる分野の拡大

3 企業の人手不足の解消

今後の動き

「女性活躍推進法案」国会審議中

＜主な概要＞
 国、県：女性の職業生活における活躍推進に関する施策についての計画策定及び協議会を組織
 事業者：女性採用や登用等を促進するための行動計画の策定

＜政策パッケージの主な施策＞

- ・「女性のチャレンジ応援プラン」策定
- ・「正社員実現加速プロジェクト」の推進
- ・「働く女性の処遇改善プラン（仮称）」の推進 など（詳細は不明）